

など、計四十名出席。

一、本堂及び墓前にて法要、導師、住職 磯田芳竜師

二、会食 挨拶 獨嘯庵頭彰会事務局

三、記念講演会(司会、裏辻嘉行、長門谷洋治、岡村芳樹)

渡辺武先生 「獨嘯庵の吐方について」

宗田一先生 「獨嘯庵の出版書誌」

寺師睦宗先生 「永富獨嘯庵」

四、懇親会

永富家子孫謝辞、中嶋哲夫、井上喜郎、幸子夫妻、小石秀夫、長与健夫氏以下順次挨拶

(今春、葺鷺庵本堂に「獨嘯庵文庫」を設立しました。獨嘯庵に関する資料を御寄贈お願い申し上げます。)

(獨嘯庵頭彰会事務局 岡村芳樹)

日本医史学会関西支部一九九五(平成七)年春季大会

共催 京都医学史研究会

とき 一九九五年五月二十八日(日) 午前九時半から

ところ 京大会館(京都市左京区吉田河原町一五一九)

開会のことば……………長門谷洋治

一、クリニカル・サイエンス(T・ルイス、一九三〇年代)

栗本 宗治(大阪医大)

二、島村俊一先生の事跡

藤田 俊夫(京都市)

三、江戸のオランダ正月二〇〇年

宗田 一(京都市)

四、二、三〇回追善祭と獨嘯庵を廻る人々

岡村 芳樹(大阪市)
五、(紙上発表)『漫遊雜記』にみる毒の用語について
小曾戸明子(東京都)

六、高原滋夫先生について
江川 義雄(廿日市市)

七、丹波の種痘医 松本節斎とその一族

古西 義麿(大阪市立
旭図書館)

八、ハンガリーの医薬博物館

石田 純郎(新見女子短大)

九、Otto Friderich Müllerの欧州遍歴旅行

安田 純一(西宮市)

一〇、緒方三平の『医薬品術語集』(適塾蔵)について

岩治 勇一(大野市)

一一、酒田の『解体約図』—池田貞三文庫図書目録紹介をかかて—

佐藤 允男(山形県)

一二、長崎逢洲の年譜について

正橋 剛二(富山市)

一三、野口英世の在米初期の友人 児玉信嘉

石原 理年(長岡京市)

一四、色盲の歴史

奥沢 康正(京都市)

一五、新収藏品「ウルルス」について

岩井敏治郎(内藤記念くすり博物館)

特別講演 藤原定家と冷泉家

同志社女子大学教授 隴谷 壽

閉会のことば……………杉立 義一

(長門谷洋治)